



埼玉から新しい道を切り開く ～未来への投資～

埼玉県知事 上田 清司

県政運営に関する基本的考え方

我が国は今、景気の低迷や厳しい雇用情勢に加え、環境問題、医療、福祉をめぐる不安などさまざまな課題に直面しています。

私は、我が国がこうした困難な課題を乗り越え、新たな時代を切り拓くためには二つの鍵があると思っています。

その一つは「地域主権」の確立です。地域主権は、地域が知恵と工夫で新たな取組みに挑戦することを可能にします。地域主権が生み出すこうした躍動感と、身近な成功例の積み重ねが新しい日本をつくる鍵になると思います。私は、埼玉での成功例を日本の未来をつくるエネルギーの源「源動力」として全国に発信し、ゆとりとチャンス拡大に全力で取り組んでいく決意です。

もう一つの鍵は、将来の活力につながる「未来への投資」です。経済危機を乗り越えた先にある世界、日本、そして埼玉の変化を見据え、次世代産業や人材の育成に力を注いでいく必要があります。将来の世代にとって希望とチャンスにあふれる埼玉を築くことは、現在を生きる私たちの大きな責務です。

平成二十二年度予算編成の基本的考え方

こうした基本的な考え方に立ち、平成二十二年度予算編成においては、限られた財源を、県政の三つの縦軸である「当面の経済対策」、「未来への投資」、「暮らしの安心保障」と、それらを貫く横軸である「埼

玉県雇用ニューデール」に重点的・効率的に配分しました。

当面の経済対策

まず、緊急的な雇用対策や企業の資金繰り支援などにスピーディーに対応し、地域経済をしっかりと支えてまいります。

具体的には、環境に配慮した住宅を新築される方への助成などを始めとする「埼玉版グリーン・ニューデール」の推進や、企業向け制度融資における四千五百億円の融資枠の確保などを行ってまいります。

未来への投資

当面の経済対策とともに、経済危機を乗り越えた先の社会の変化を見据えて、将来の埼玉の活力や雇用の受け皿を生み出す施策についても取り組まなければなりません。

具体的には、エコ住宅や次世代自動車、農商工連携など、次世代産業への参入に取り組み中小企業の先進的な技術開発を支援してまいります。

また、介護分野への人材誘導など、将来の成長が見込まれる分野の担い手育成に努めてまいります。さらに、アジアなど海外における本県企業のビジネス展開支援に力を入れてまいります。

暮らしの安心保障

生まれたときから就労するまでの間を通じた福祉・医療・教育の充実を図ることで県民生活の安心を確保し、チャレンジの機会を保障してまいります。

具体的には、保育所待機児童対策や小児救急医療の二十四時間体制の確保などの子育て支援、私立高校に通う生徒を持つ世帯の負担軽減などの誰もが十分な教育を受けられる環境づくりを行ってまいります。

また、就職未内定者対策を始めとして、ニート・フリーター対策や障害者の雇用促進など総合的な就業支援を展開してまいります。

埼玉県雇用ニューデール

世界同時不況以降、雇用をめぐる情勢は大幅に悪化しており、雇用の創出と確保は最も重要な政策課題となっております。そこで、県政全体を貫く横軸として、雇用の創出・確保の取組みを「埼玉県雇用ニューデール」という形で取りまとめ、各界の皆様と強力で連携しながら展開してまいります。

そして、雇用の水準をリーマンショック以前に戻すことを目標に、三年間で約七万人の雇用を創出してまいります。

私は埼玉県を、ゆとりとチャンスにあふれた県にすることを県政運営の基本としてまいります。

多くの方々が暮らしや将来に不安を感じている今、埼玉県が日本一チャンスにあふれていると県民の方々に感じていただけるような県づくりを改めて全力で取り組んでまいります。

また、大きな転換期にある我が国において、新しい日本の在り方をまず埼玉が示すという気持ちを持って県政運営に取り組んでまいります。